

生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 107

今月のテーマ

ライフ・イベントと家計の循環

今月は暮らしにおける「循環」について考えてみることにした。社会においても家計においても、はたまた私たちの身体における健康を維持するためにも、循環は極めて重要な意味を持つ。今年の冬は、あちらこちらで大雪に見舞われたことで、交通が寸断され流通にも大きな影響をきたした。つまり、循環なるものは一部では成り立たず、全体が流れてこそ循環なのである。血液に例えると分かり易いが、一か所が細くなったり詰まったりすると心筋梗塞や脳卒中などの重大事態を招いてしまう。今回は、ライフ・イベントと「家計収支」にスポットを当てて、循環という視点で考えていくこととする。

まずはライフ・イベントとは何か？それは、人生上での出来事(イベント)のことだ。人それぞれではあるが、人の一生涯では実にいるんなことが、望むと望まざるに係わらず発生する。具体的なライフ・イベントとして主なものは、誕生、就学、就職、結婚、出産・子育て、教育、退職、死というものが挙げられる。この他にも“家の購入”、“車の購入”、“高額家財の購入”、“旅行”などもライフ・イベントと言える。重要視したいのは、これらに共通してなんらかの費用がかかるということだ。せめて、定期的に同じ金額が続くのであればまだしも、冷蔵庫と洗濯機が同時に壊れるなど、思い通りにはならない。しかし、殆どのライフ・イベントは、その時期と掛かる費用についておおよその検討がつく。ならば、それに合わせた計画と資金準備ができるはずなのだが…。

最近、吾輩の脳みそ内の循環は、仕事が多まってくると思考停止に陥ってしまうことがしばしば起きてしまう。やっぱり、計画性が大事なんだよなあ。でも、唯一規則正しいこともある。毎晩欠かさないアルコール消毒だ。一頃、休肝日なるものも設けたが、規則正しさを優先し、今は解禁し皆勤賞ものの循環が続いている…。



人生ゲームと「ライフ・イベント」

皆さんは人生ゲームなるものをご存じだろうか？日本では1968年に発売されて以来、50年のロングセラーとなっている盤面ゲームだ。ルーレットを回し、出た数の分だけ駒を進めるといふもので、駒の内容は、人生上に起こりえるような事柄が、実に細かく割り当てられている。一定の手持ち金額からスタートし、進んだ駒の内容によってお金が増えたり減ったりする。何故ここでこのゲームを持ち出したかというと、多くの方が知っているこの「人生ゲーム」とは言え、それぞれの駒に割り当てられている内容がライフ・イベントを理解するにははつとつけないものだからだ。名前の通り、内容は人生で起こりえるようなイベントそのものを描いていて、それぞれに金額のマイナスとプラスが関連付けられていることもリアルだ。また、火災で家を手放したり、交通事故でけがをしたりした場合の保険への加入の有無も関連付けられていて、備えとついても気づきの機会になるかもしれない。

押入れに眠っているかもしれないゲームを探し出し、今一度家族で楽しんでみたらどうだろうか？子供にとっては、金銭感覚を身に付けるという点で良い教育にもなること請け合いだ。現実との違いは、人生ゲームでのイベントは出た目の数による偶然であるのに対し、自身のライフ・イベントは、結婚にしても住宅の購入にしても、それらの殆どが必然であり、計画の延長線上に置くことが出来るといふことである。

「ライフ・イベント表」を作ってみよう

「ライフ・イベント表」とは、単に人生上の出来事に止まらずに、将来の予定や目標を時系列に並べたもので、各年に予定されるライフ・イベントと、それにかかる費用を一覧表にし、自分や家族の生活に必要なお金が、何時いから掛かるかが具体的に見えてくる。大事なのは「ライフ・イベント表」を作ること自体が目標ではないといふことだ。



齋藤 廣勝 (さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®ローティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

- ◆ 保険の見直しを検討している
- ◆ 加入している保険が本当に良いのかわからない
- ◆ 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- ◆ 将来の子供の教育費が心配

相談は無料!!
納得いくまで相談できます。

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート
秋田市泉北3丁目17-22
TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
● 営業時間 / 9:30~18:30 (土・日・祝日は9:30~17:00)
● 定休日 / 水曜日

● 紳士服のコナカ ● エネオス
● すずきクリニック ● 当店
● マクドナルド ● かんきょう
● 洋服の青山 ● 洋服の青山

詳細はホームページでもご覧いただけます。

「作ってみよう」と言っておいて否定するようだが、あくまでも将来の夢や目標なども含めた計画を明確にすることで、それを実行するために必要なお金を準備し、暮らしの円滑な循環を自指することが目的だ。

「ライフ・イベント表」と一口に言ってもシンプルに家族ごとの「イベント名」と、かかるお金を年度毎にまとめたものや、収支と金融資産残高を含めた詳細なもので様々なタイプのものがある。サンプルとして載せたのは前者のシンプルなものだが、それぞれに合ったものを選んで欲しい。

日本FP協会のホームページでは、今後の主なライフイベントと費用や、将来の収支が予想できる家計のキャッシュフロー表」の記入シートが掲載されている。また「主なライフ・イベントにかかる費用の目安」など、様々なツールも用意されているので是非とも参考にしたい。参考ページ <https://www.jafp.or.jp/know/fp/sheet/>

その他、金融広報委員会のホームページ「知るほろ」からも、「自分でつくれるエクセル・ライフプラン表」がダウンロードできる。様々なお役立ち情報も提供されており、初心者にも分かり易く解説されている。少しの間はかかるものの、budgetにしても優れモノなので是非ともチャレンジしてみよう。(参考ページ <https://www.shiruporuto.jp/public/check/>)

● 将来を見通すことが出来るか？

人生、山あり谷あり、いつ何が起きるか分からない。災害だったり、病気だったり、とっさの出費だったり、なかなか予想することは難しい。そうかな…!?!物理的な事象を完全に予見することは出来ないにしても、その可能性を一定の範囲で想定することは可能だ。社会に出てからは、アパートの契約、車の購入、結婚、出産、引越、子供の進学、マイホーム建築、大型電化製品・家具の購入などなど、一般的なライフ・イベントはほぼ想定できるし、それに係る費用もおおよその検討が付くはずだ。将来のライフ・イベントに係る支出が想定されている以上、当然に準備されていないならばならないし、ほとんどの場合、その準備は家計のやり繰りで可能なはずだ。もし、これを出来ずに貯蓄も無かったとすれば、家計の循環は停止してしまう。結果としてマイカーローンや車検ローン、クレジットカードやリボ払い、はたまたキャッシングと負の循環が始まってしまいます。そしてライフ・イベント表には出てこない想定外という事態も否めない。交通事故や火災などの災害、病気やケガによる療養などもあり得るが、これらに対しても火災保険などの損害保険や生命保険に加入しておくことで、急な支出を補填できる。つまり、想定外の事態を含む多くのことは、見通すことが出来る。と言っています。

ライフ・イベント表サンプル

経過年数	年	ご家族の年齢				各人のイベント				ご家族のイベント	かかるお金
		夫	妻	長女	長男	夫	妻	長女	長男		
1	2018	45歳	42歳	16歳	12歳				中学校進学		
2	2019	46歳	43歳	17歳	13歳				車免許	TDR旅行	30万円・25万円
3	2020	47歳	44歳	18歳	14歳				大学進学		200万円
4	2021	48歳	45歳	19歳	15歳				高校進学		15万円
5	2022	49歳	46歳	20歳	16歳					妻の車買替	150万円
6	2023	50歳	47歳	21歳	17歳				車免許		30万円
7	2024	51歳	48歳	22歳	18歳				就職	大学進学	20万円・200万円
8	2025	52歳	49歳	23歳	19歳						
9	2026	53歳	50歳	24歳	20歳						
10	2027	54歳	51歳	25歳	21歳					夫の車買替	250万円
11	2028	55歳	52歳	26歳	22歳					就職	20万円
12	2029	56歳	53歳	27歳	23歳						
13	2030	57歳	54歳	28歳	24歳				結婚予定		援助100万円
14	2031	58歳	55歳	29歳	25歳						
15	2032	59歳	56歳	30歳	26歳					妻の車買替	150万円
16	2033	60歳	57歳	31歳	27歳	夫婦旅行	夫婦旅行				30万円
17	2034	61歳	58歳	32歳	28歳						
18	2035	62歳	59歳	33歳	29歳						
19	2036	63歳	60歳	34歳	30歳		退職		結婚予定		援助100万円
20	2037	64歳	61歳	35歳	31歳		退職			夫の車買替	250万円
21	2038	65歳	62歳	36歳	32歳		公的年金				
22	2039	66歳	63歳	37歳	33歳						
23	2040	67歳	64歳	38歳	34歳						
24	2041	68歳	65歳	39歳	35歳		公的年金			住宅修繕費	200万円
25	2042	69歳	66歳	40歳	36歳						
26	2043	70歳	67歳	41歳	37歳					住宅ローン完済	
27	2044	71歳	68歳	42歳	38歳						
28	2045	72歳	69歳	43歳	39歳						
29	2046	73歳	70歳	44歳	40歳						
30	2047	74歳	71歳	45歳	41歳					夫の車買替	150万円
31	2048	75歳	72歳	46歳	42歳						
32	2049	76歳	73歳	47歳	43歳						
33	2050	77歳	74歳	48歳	44歳						

先に紹介した人生ゲームにしても、将来に想定されるイベントは勿論、想定外のことも盛り込まれている。ゲームの場合「ふりだしに戻る」があったり、自己破産してもゲームそのものを最初からやり直すことが出来てしまうが、現実の人生は決してやり直しはきかない。将来を見通し、それを裏打ちするしつかりとした準備が必要なことと言ってしまうでもない。

● 事前準備可能なものと対策を必要とするもの

全てを事前に準備出来れば、それに越したことはないが、住宅取得資金や教育資金となると、その全てを貯めてからというのは結構大変だ。住宅取得の場合は、自己資金の準備と住宅ローンの組み合わせのプランも視野に入れておきたいし、教育資金にあつては学資保険等での自己資金に加え、仕送り可能な金額で不足する場合は奨学金の利用なども視野に入れておきたい。将来のイベントは、それぞれの世帯で異なるにしても、それぞれの将来の見通しとそれに合わせた準備や対策を取ることは可能なのである。

多くの方が将来に対する不安を持っていると言われているが、具体的な根拠のない漠然とした不安であることも少なくない。ライフ・イベント表やキャッシュフロー表を作成する

ことで、その根拠を可視化できるし、準備・対策もそこから見えてくる。家計収支の循環が見通せて初めて、不安が安心へと変わっていくのである。

● 好循環と悪循環

何の準備も出来ない状態で事が起きると、その場をしのぐための対症療法を取らざるを得ない。それが、お金のこととなると、ローンなどの形で調達することとなる。その後、返済に追われ貯蓄できなければ、また次にもローンという負債のスパイラルが続くことになってしまう。つまりは悪循環だ！好循環の家計収支になるためにも、ライフ・イベントに沿った計画を立て、「好循環」と言える家計を目指して欲しい。

● 来月号は

大人になってからの金銭感覚に問題が生じないよう、子どもとお金について考えてみよう。